

Public Information OBIHIRO

広
報

おびひろ

1 月号

令和5年
(2023年)

January

No. 1184

発行：帯広市
編集：政策推進部広報秘書室広報広聴課
〒080・8670 帯広市西5条南7丁目1番地
電話 (0155) 24・4111
FAX (0155) 23・0151
<https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

各頁の掲載情報は12月13日時点のものです。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、掲載内容や行事などの日程が変更になる場合があります。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、引き続き、基本的な感染対策の徹底にご協力をお願いします。

新春対談



環境とまちと人 6・7頁

「環境対策は我慢することではない？」
「帯広の環境に貢献できる三つの財産とは？」

環境省 事務次官

とくや
和田 篤也 氏

帯広市長

米沢 則寿

プロフィール

帯広柏葉高等学校卒業。
北海道大学大学院工学研究科修了後、
昭和62年9月国家公務員採用I種試験(土木)合格、翌年4月環境庁入庁。
大臣官房審議官、大臣官房政策立案総括審議官、総合環境政策統括官などを
経て、令和4年7月より現職。

地球環境問題が世界共通の重要課題として認識されている昨今。健全な地球環境なくして、これからの経済発展や安全安心な暮らしは、成り立たないと言われています。

国をあげて対策に取り組む中、環境省の事務方トップとして活躍されているのは、中学・高校時代を帯広市で過ごされた和田篤也事務次官です。

私たちのまちや暮らしと「環境」とのつながりについて、帯広に縁があり、我が国の環境政策をリードしている次官ならではの視点によるお話を、米沢市長が伺いました。



地域の「時代性」・「可能性」への共感を未来への力に

帯広市長 米沢 則寿

新年明けましておめでとうございます。本年が、皆さまにとつて、希望に満ちた輝かしい年でありませう、お祈りいたします。

私たちは今、食料やエネルギーの安定的な確保のほか、脱炭素社会や循環型経済の実現、デジタル

技術を活用した生活の質の向上といった多くの課題に直面しています。十勝・帯広には、命の根源となる食とそれをつくり出す農業、豊かな自然環境や緑あふれる生活空間など、恵まれた資源があります。

また、前向きに挑戦する人々や、十勝19市町村の強い結び付きも、この地域の大きな強みです。

これらの資源や強みを最大限に活かすことで、住民の暮らしや地域経済を豊かにするだけでなく、世界が直面する課題の解決にも貢献できるものと考えています。

こうした十勝・帯広の「時代性」と「可能性」に共感し、主体的に行動する人や企業の輪を、さらに広げていきたいと思っています。十勝・帯広の未来を信じる市民の思いを原動力として、私も、地域の新たな価値の創出と、持続可能な社会の実現に向けて、挑戦し続けていかなければならないと、気持ちを新たにしているところで

です。本年も、皆さまの知恵とお力添えをいただきながら、十勝・帯広の明るい未来づくりに全力で取り組んでまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶といたします。

年頭のご挨拶



市民の皆さまと共に 十勝・帯広の輝ける未来へ

帯広市議会議員 有城 正憲

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、平原まつりや実地によるフードバレーとかちマラソンが開催されるなど、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に向けて取り組んだ1年であ

りました。帯広市議会におきましても、3年ぶりに市民意見交換会を開催し、市民の皆さまの想いを直接お聴きすることができ大変貴重な機会であることを改めて実感したところであります。さて、現在、新型コロナウイルス感染症の流行に加え、原材料や燃料の価格上昇に伴う物価高騰など、さまざまな場面で市民の暮らしに影響が及んでいます。

このような時代だからこそ、十勝・帯広の食や農業、自然環境をはじめとする地域の優位性を再認識し、まちづくりに活かしていく

ことが大切です。帯広市議会では、郷土の豊かな食に着目し、市民の心身の健康増進や地産地消の推進など、すべての市民が一丸となり食育に関する取り組みを進めていくため、食育推進条例の制定に向けた活動を行ってきたところであります。私たち議員一同は、議会に求められる役割をしっかりと捉え、十勝・帯広の輝ける未来へ向け、市民の皆さまと共に全身全霊でまっすぐに取り組んでまいります。今後とも、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、皆さまにとりまして健康やかで幸多い年となりますことをお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。



お正月は ばんえい十勝へ

1月2日から4日まで連続開催

大迫力のレースのほか、楽しいイベントや来場者プレゼントも用意して、皆さんをお待ちしています。

お問い合わせ ばんえい振興課（西13南9、帯広競馬場内、☎34・0825）

新年は2日振から 3日間連続開催

新年は、2日振から4日(水)まで3日間連続でばんえい競馬を開催します。

ばん馬の体から立ち上る湯気と、音を立てて噴き出す真っ白な鼻息は真冬のばんえい競馬の醍醐味です。お正月は、帯広競馬場で力強い大迫力のレースを観戦しませんか。

最高峰の重賞競走 「帯広記念」と「天馬賞」

2日振は、ばんえい競馬を代表する人気馬が出走する伝統の高重量戦「農林水産大臣賞典第45回帯広記念」、3日(火)は、明け4歳最強馬決定戦「第16回天馬賞」と、スターホースが競い合うビッグレースが続きます。



第44回帯広記念（令和4年1月2日）優勝馬 キタノユウジロウ

ばんえい競馬 新春イベント!

2日振 「帯広記念」応援キャラクター なかやまさんに君が来場!



「パワー!!」のギャクで人気の筋肉芸人・チューチューバーなかやまさんに君が、ばんえい競馬の力強さにも負けない熱量で帯広競馬場を盛り上げます! 詳細は、ホームページを確認してください。

帯広競馬場のお正月は、なかやまさんに君が来場するなど、寒さも吹き飛ばすパワーみなぎるイベントが盛りだくさん! 来場者プレゼントも用意していますので、ご家族や友人など皆さんでお越しください。

2日振 平原太鼓によるお迎え

開門時は帯広市の郷土芸能平原太鼓の力強い演舞で皆さんをお迎えします。

- 時間 開門時（12時）
- 場所 入場門付近



2日振~4日(水) 来場者プレゼント

2日(振)と3日(火)は、先着1000人へ干支菓子やあずき茶などが入ったお楽しみ袋を、4日(水)は先着300人へお菓子をプレゼントします。

開運WEBキャンペーン

特産品やグッズなどが、合計300人に当たるキャンペーンを実施します。12月28日(水)から1月4日(水)までの期間内に、ホームページの応募フォームから応募してください。

開門・発走（予定）時刻

1月2日(振)~4日(水)	
開門	12時頃
第1レース	13時頃発走
最終レース	19時頃発走

※開門時刻などは変更となる場合があります。



詳しくは、ばんえい十勝のホームページを参照してください



冬の災害に 備えておきましょう!!

災害はいつ起こるか分かりません

冬期間の停電発生に備え、寒さ対策を万全にしましょう。

問い合わせ 危機対策課（市庁舎5階、☎65・4103）

冬の災害対策

平成30年9月に発生した胆振地方を震源とする地震では、北海道全域が停電し、私たちの生活は大きな影響を受けました。もし、この地震が冬に発生していたら、どのような被害があったでしょう。他の季節とは違う防災対策について考え、家庭でも冬の災害に対する備えを始めましょう。

寒さから身を守る

停電が発生した場合、電気ストーブだけではなく、ガスや灯油を熱源とする暖房器具であっても、コンセントからの電気により着火・送風するタイプは使用できません。そのため、停電時は、家庭で使用されている暖房器具の9割以上が使用不能になると言われています。

冬の災害に備えて準備する暖房器具は、カセットガスストーブやポータブル灯油ストーブなど、コンセントからの電気を使用しないタイプを選びましょう。

さらに、ジャンパーや帽子などの防寒具や使い捨てカイロ、防寒

アルミシートなど、冬の寒さをしのげる準備をしましょう。暖房器具と併用すると効果的です。

準備しておきたい非常持ち出し品リスト

季節を問わないもの

- 食料、飲料水
- 衣類、毛布、寝袋
- ヘルメット（防災頭巾）
- 携帯用ラジオ
- 携帯電話用バッテリー
- 救急箱・マスク
- 簡易トイレ
- 常備薬・持病薬
- 懐中電灯
- 現金・貴重品 など



冬季に必要となるもの

- 防寒具
- 長ぐつ
- ポータブルストーブ
- 使い捨てカイロ
- 防寒アルミシート など

「通電火災」の危険

災害による停電が復旧すると、暖房機器に接触した可燃物への引火や、損傷している配線からの発火など、「通電火災」が発生する恐れがあります。

停電中は、電気機器のスイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、自宅を離れる際は、ブレーカーも落としましょう。

また、通電後は、電化製品や配線の損傷などの安全性を十分に確認した上で使用を再開するほか、室内から煙の発生などの異常を発見した場合は、直ちにブレーカーを落とし、119番（消防）通報をしてください。

通電火災の例

・ショートした配線から発火



・電気ストーブに落下した物へ引火



市ホームページID.1002264

◆実際に体験して備えよう

防災グッズ展

- ・家庭で備える防災用品や市の防災資機材の展示
- ・市内の小中学校で実施した親子防災講座の紹介



日時 1月16日(月)～20日(金)、9時～17時（初日は12時から、最終日は15時まで）
場所 市民ホール（市庁舎1階）

冬季防災訓練

- ・冬季に大きな地震が発生し、市内各所で家屋などへの被害がある災害を想定
- ・救助救出や停電対策、避難所運営の訓練などを実施



日時 2月4日(土) 13時30分～17時30分
場所 豊成小学校（清流西1）
定員 100人
申込 1月20日(金)までに、電話で危機対策課へ

◆防災動画を見て備えよう

見て備える「防災動画」

防災啓発動画を市のホームページで公開しています。ご家族や地域で防災対策の参考にしてください。



帯広市防災動画

検索

インターネットで学ぼう「おびひろe-防災」

防災に関する資料や動画を紹介しています。いつでも・どこでも防災について学ぶことができます。



おびひろ e-防災

検索

◆「後発地震注意情報」の運用開始

大きな地震の後の巨大地震

大きな地震が発生した後に、さらに大きな地震（後発地震）が発生することがあり、平成23年の東日本大震災もその一つです。過去100年の間、世界でM7.0以上の地震は1477事例あり、うち7日以内にM8.0以上の地震が17事例発生しています。

そのため、12月16日より、国において「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を開始しました。今後は、北海道根室沖から東北地方三陸沖エリアで、M7.0以上の地震が発生した場合、「後発地震注意情報」が発表されます。



▲内閣府ホームページ

1週間程度は警戒レベルを高めましょう

後発地震は必ず発生するとは限りませんが、注意情報発表から1週間程度は、地震への備えを再確認し、巨大地震への警戒レベルを高めましょう。

- ・家具の固定や食器類などの落下対策を確認
- ・落下物などの心配がない場所で就寝
- ・避難場所や非常用持ち出し品などの確認 など

障害のある子どもの暮らしを支える



子育て支援課では、障害のある子どもや発達に心配のある子どもとその家族を対象とした、取り組みを実施しています。

問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700）

子育て支援課にて無料で配布しています。

1 医療的ケア児の相談窓口

「医療的ケア児」ってなあに？

医療的ケア児とは「身体の機能に障害があり、呼吸や栄養摂取、排せつなどに、日常的な医療的ケアを必要とする子ども」のことです。

家族などが人工呼吸器の管理や痰の吸引、在宅酸素療法、導尿などの医療的ケアを、自宅などで日常的に行う必要があります。

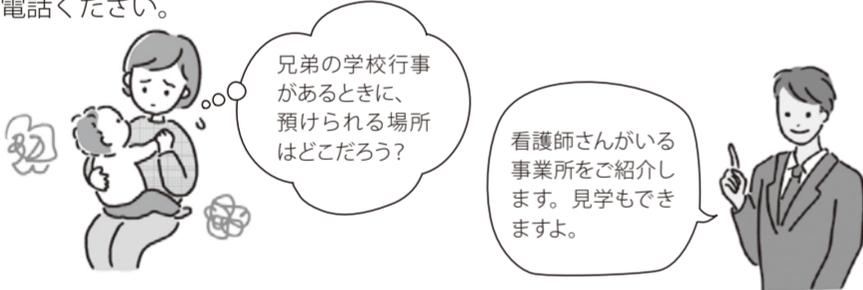
近年、医学の進歩を背景に医療的ケアを必要とする子どもが増えています。

医療的ケア児の相談窓口は子育て支援課です

生活の中で困っている事はありませんか？

窓口では、必要な情報の提供や関係機関との連絡調整を行います。また、医療的ケアはないが身体障害や知的障害のある子どもの相談も受け付けています。

電話や来所による相談、家庭訪問も実施していますので、まずは一度お電話ください。



2 子どもの発達を記録する「つなぐっと」

「つなぐっと」ってなあに？

「つなぐっと」は障害や発達に心配のある子どもを支えるため、保護者が子どもの健康状態や成長、生活の様子、通院・通所履歴などを記録し、周りの人たちと子どもの状況を共有するサポートファイルです。

市ホームページID.1004632



保育所や学校に通い始める時などに役立ちます

子どもが新たに保育所や学校などに通い始める時は、保護者から障害や発達について詳しく説明し、理解してもらうことが大切です。何を伝えたらいいか迷う時も、「つなぐっと」があると、子どもの様子を正確に伝えることができます。

成長に合わせてページを足したり、他の資料と一緒につづることも可能です。

利用者から、こんな声が寄せられています

- 経過を書いておけば、忘れなくて済む
- 療育先や医療機関などの資料は、つなぐっとと一緒につづると保管しやすい

「つなぐっと」書き方説明会を開催します

専門スタッフが一緒に記入のお手伝いをします。申し込みは、2月1日(木)までに電話で子育て支援課へ。日時 2月8日(水)、10時～11時 場所 保健福祉センター



子どもをさまざまな危険から守る

青少年センターでは、不良行為や問題行動を早期発見し、非行の未然防止やネットトラブルなどに巻き込まれないよう、街頭巡回や啓発活動を行っています。

問い合わせ 学校地域連携課青少年センター（市庁舎8階、☎65・4161）

青少年の行動を見守る、街頭巡回指導の現状

中心街や郊外の商業施設などで、令和4年4月から10月の間に、234回の巡回指導、293人の青少年に声掛け指導を行いました。(図)

約7割を占める交通マナー指導の多くが、自転車の走行中にスマートフォンを操作する「ながらスマホ」やイヤホン装着して自転車を走行する、交通ルールへの指導でした。

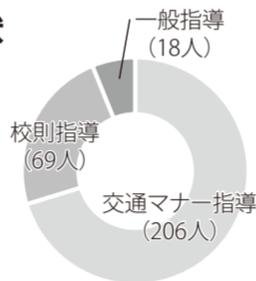


図 街頭巡回指導の状況



危険！「ながらスマホ」やイヤホン装着

自転車走行中の「ながらスマホ」は、片手運転となりハンドル操作が不安定になるほか、画面を注視することで周囲の危険に気付くのが遅れ、重大な事故につながる恐れがあります。また、音楽を聴きながらの走行も、周囲の音が聞こえづらくなり大変危険です。巡回指導では、事故を未然に防止するため、今後も継続して指導啓発を行っていきます。

の音が聞こえづらくなり大変危険です。巡回指導では、事故を未然に防止するため、今後も継続して指導啓発を行っていきます。

インターネット利用に伴うトラブル

青少年によるインターネットの利用時間が年々増加する中、SNSなどに起因する犯罪被害が懸念されています。

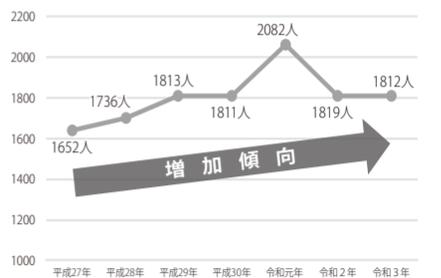
中でも、児童ポルノや児童買春などの性被害のトラブルに巻き込まれる被害児童生徒数が増加傾向にあります。

令和3年度青少年のインターネット利用状況 SNSに起因する事犯の子どもの被害者数

	小学生	中学生	高校生
利用率	96.0%	98.2%	99.2%
利用時間/日	207分	259分	331分
利用内容	全年代で動画視聴、音楽視聴、情報検索、ゲーム、投稿やメッセージ交換が多い。利用時間は年齢とともに増加傾向。		

出典：青少年のインターネット利用環境実態調査（内閣府）

出典：少年非行、児童虐待および子どもの性被害の状況（警察庁）



有害サイトから青少年を守る「フィルタリング」を使っていますか？

フィルタリングは、危険なインターネットサイトの閲覧やアプリの利用などを制限できる機能です。

「アプリが使えない」「見たいサイトにつながらない」といった理由から、フィルタリングの設定をためらうケースが多くありますが、年齢別の設定や、使いたいアプリだけを利用できるようにするなど、状況に合わせて安全安心な利用ができるので、携帯電話販売店に相談してフィルタリングを設定することをお勧めします。



「子ども110番の家」の登録にご協力を

登下校時などの際、子どもの身に危険が迫った時に駆け込む場所が「子ども110番の家」です。逃げ込んだ子どもを保護し、110番通報や、保護者へ連絡するなどして、犯罪被害を未然に防止します。

地域の子どもたちが、安心して登下校できるよう、皆さんのご協力をお願いします。





交通事故などの被害にあったら

第三者行為による国保利用

加害者のいる交通事故などで国民健康保険（国保）の保険証を使用した場合、届け出が必要です。

問い合わせ 国保課（市庁舎1階、☎65・4138）



市ホームページID.1002640

負傷原因の照会を行うことがあります

医療費を適正に給付するため、交通事故などの第三者行為によるケガの可能性がある人に対して、負傷原因の照会を行っています。負傷原因の照会文書が届いた人は、回答にご協力をお願いします。

このようなきは国保の保険証を使用できません

次のような事故やケガの場合には、国保の保険証を使用できませんので、注意してください。
 ・労災が適用されるもの
 ・故意による犯罪行為
 ・法令違反によるもの など

第三者行為の例

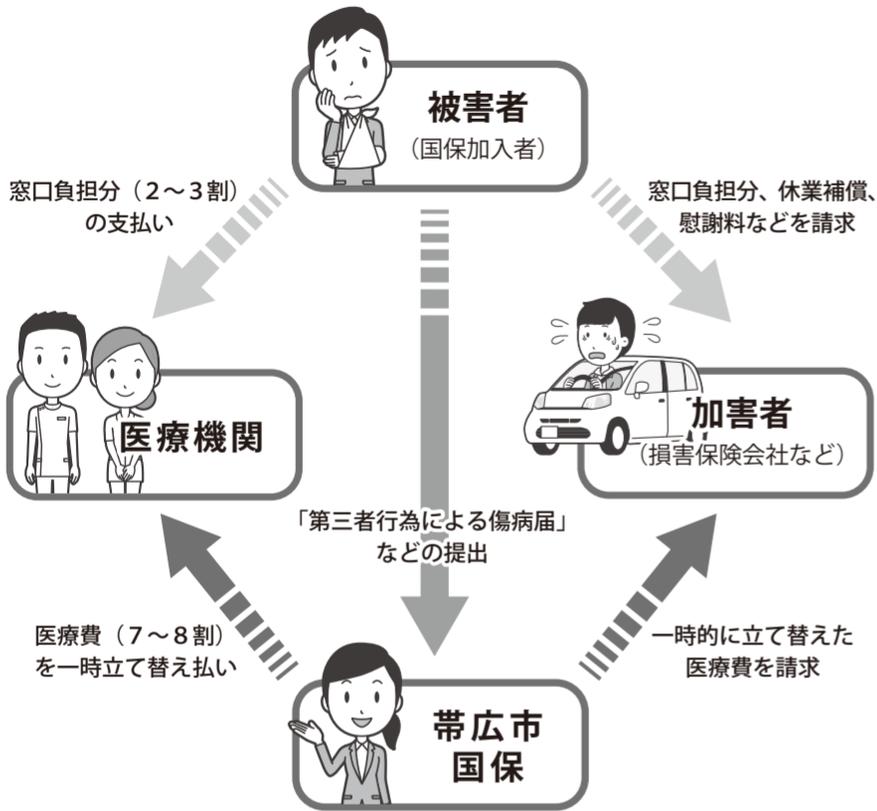
- ・第三者行為には、次のようなものがあります。
- ・相手のいる交通事故（同乗者を含む）
- ・他人からの暴力行為
- ・飲食店での食事による食中毒
- ・他人のペットにかまれた など

届け出に必要なもの

- ①本人確認書類（運転免許証など）
- ②印鑑
- ③国保の保険証
- ④第三者行為による傷病届
- ⑤念書（兼同意書）
- ⑥事故発生状況報告書
- ⑦交通事故証明書 など

※④～⑥は、国保課で配布しているほか、市ホームページからも印刷可能です。
 届け出などの記載方法や交通事故証明書の入手方法は、国保課または加入している損害保険会社に問い合わせください。

図 第三者行為により国保を使用した場合の流れ



ジェネリック医薬品を 使用しませんか

上手に使用し薬代を節約

国民健康保険（国保）は、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進に取り組んでいます。

問い合わせ 国保課（市庁舎1階、☎65・4138）

医療の高度化、高齢化の進行などを背景に、国保の被保険者1人当たりの医療費は増加傾向にあります。

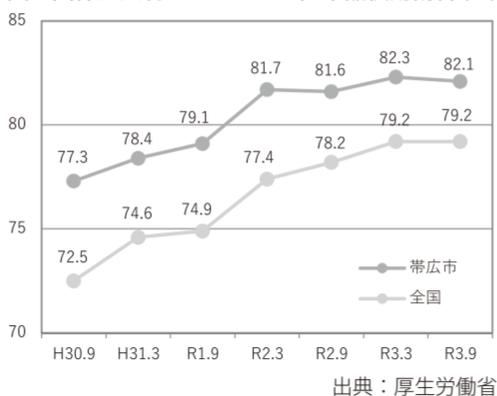
市は、国民健康保険制度を将来にわたって安定的に運営していくため、医療費を抑える取り組みの一つとして、ジェネリック医薬品の普及啓発に努めています。

ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許が切れた後に発売される医薬品です。

先発医薬品の特許期間（20～25年）終了後に厚生労働省の承認を得て製造・販売されるもので、先発医薬品と同じ有効成分で、同等

図 国保加入者のジェネリック医薬品使用割合（%）



ジェネリック医薬品の使用割合

近年は、ジェネリック医薬品の理解が進み、国保加入者の使用割合は増加傾向にあります。（図）

使用するためには

ジェネリック医薬品の使用を希望する場合は、病院・診療所・保険薬局で医師・薬剤師に相談してください。初めて使用する場合は、一週間のみなど、短期間だけジェネリック医薬品に変更することもできます。なお、変更後も、体調の変化や副作用が疑われる症状などを医師・薬剤師が確認した上で、本人の意向も踏まえて先発医薬品に戻すことができます。

ジェネリック医薬品の差額通知を送付しています

市では、対象月に処方された薬に対し、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の例を提示し、対象月の削減可能額をお知らせする差額通知を送付しています。

1回分の差額は小さくても、累積すると薬代の削減効果が大きくなるので、特徴やメリットを理解した上で、ジェネリック医薬品を上手に使用してください。

通知対象者

国保に加入している7歳以上の人（主に慢性疾患などの先発医薬品を服用されている人）で、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、薬代の自己負担額が一定以上安くなると見込まれる人。

ジェネリック医薬品に関するお知らせは、市ホームページや、毎年保険証の更新時に同封する「国保のしおり」でもご覧いただけます。



市ホームページ ID.1002660

ジェネリック医薬品 Q&A

どんなメリットがあるの？

先発医薬品に比べて開発費用が大幅に抑えられるため、低価格での提供が可能です。先発医薬品と比べて5割程度、中には、それ以上安くなる薬もあります。

効き目や安全性は大丈夫？

先発医薬品と同様にさまざまな基準を守って製造され、厚生労働省が効き目や安全性について審査しています。先発医薬品より薬の大きさや味、においを飲みやすく工夫したものほか、保存性を向上させた製品もあります。



環境省事務次官 和田篤也氏

担当課広報広聴課

新春対談

環境とまちと人



市長 米沢 則寿

育ったまち帯広



市長 まず、帯広に住んでいた時の印象や思い出す風景などを、お聞かせいただけますか。

和田 私は室蘭で生まれ、その後、隣まちの登別に引っ越し、中学2年生まで過ごしました。室蘭は、「工業都市」としての印象が強いまちだったため、父親の転勤に伴い、日高山脈を越えて、十勝平野のど真ん中にある帯広に来た時は、北海道らしい自然豊かなまちだと感じました。

特に、転校した南町中学校の校舎からは、日高山脈が真正面に見える風景は、登別ではあまり見られる景色ではなかったのが驚きました。それと、登別の中学校は、マンモス校だったので、転校生は馴染みにくいような雰囲気もあり

ましたが、帯広に転校してみると、小学校の時からずっと友達のような感じで接してくれて、とても嬉しかったですね。

市長 進学した柏葉高校も同じで「よそ者」という言葉が本当にない気さくな地域だなと思いました。

和田 なるほど。「十勝モノロー主義」を閉鎖的な地域の代名詞のように言われることもありましたが、もともと、外の地域から入植してきた歴史があるからなのか、そんなことは全くないように思います。

和田 なかったですね。転校した初日から、給食を一緒に食べて、プロレスをやるぞとか(笑)。「いきなり!?俺、今日転校してきたばかりだけど…」と。

市長 開放的なんだな。(笑)
和田 そうですね、開放的というイメージと合っているかもしれないですね。そして、当たり前だと思ってい

た食べ物の味が、帯広では違いました。特に給食で驚いたのは「牛乳がおいしい」こと。濃い味がしましたね。

市長 道内で転校しても、そう思われなかったか。十勝・帯広は、素材の良さに触れられる地域ですね。

和田 そう思いました。東京に来た時に、牛乳だけではなく、野菜からお肉、お魚まで、いろいろな食べ物、よほど良いお値段を払わないと、おいしいものがない。当たり前だと思っていた食の文化が、当たり前ではないことに気が付きました。

自然はあらゆる活動の基盤



市長 やはり帯広は、お話しただいたように、空間の広さ、自然、みどり、そして、食という印象です。

和田 この地域の財産は、まずもって自然豊かなことです。なぜかと言うと、人間のあらゆる活動の基盤は自然だからです。

次に「食」のブランド。「フードバレーとかち」は、一見、ビジネス風に聞こえますが、生活の基本、衣食住の「食」ですよ。実は、市民の目線、暮らし目線での政策なんだと思えます。

市長 十勝・帯広の先人たちは、「食と農」と、その背景にある「自然」との接点をベースに生きてこられたのではないかと思っていて、それで、産業政策として「フード

バレーとかち」を始めたんです。

和田 自然と食に加え、もう一つの財産は、エネルギーではないかと思うんです。十勝はエネルギーの視点からも、卓越した資産を持つているのではないのでしょうか。

市長 はい。「フードバレーとかち」に取り組む過程で、10年ほど前に気が付いたのが、食と農の延長で、再生可能エネルギーの「バイオマス」にも取り組むことの有用性です。

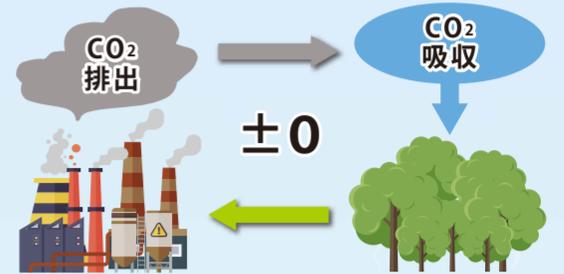
地方都市の弱みは、エネルギーを地域外から買っていることです。地域循環型の経済について考えていた時に、それまで廃棄物として扱われていた家畜のふん尿を電気や熱のエネルギーにすることで、負の遺産だった家畜のふん尿がプラスになるかもしれないと、逆転の発想につながりました。

和田 今までエネルギーは国の政策であり、地方とは無関係の世界のように思われていましたが、カーボンニュートラル(右下参照)につながる、再生可能エネルギーは、地域の防災対策やビジネスにも広がる可能性があります。

カーボンニュートラルは、二酸化炭素(CO₂)を減らしていくことだけが目的ではなく、実は一番エッジが効いている「地方創生」、まちづくりの手段になるのではないかと考えています。

カーボンニュートラルとは

温室効果ガスの排出そのものをなくすという意味ではなく、人々の活動に伴う温室効果ガスの排出量から、森林などによる温室効果ガスの吸収量を差し引いたものをゼロにすることです。



カーボンニュートラルの取り組み

温暖化の影響を抑えるため、日本は2050年までにカーボンニュートラルにより全体として温室効果ガス排出ゼロを目指すことを表明しています。



市長 脱炭素社会は、地球を守るために「我慢する」ことが目的ではなく、多少の不自由さを受け入れることで新しい価値を創っていくものだと思います。決してやせ我慢ではなく、我々の生活を豊かにしていく新しいものに結び付くのだと理解できれば、市民の皆さんにとって、環境保全と地域の暮らしとのつながりが、もっと身近になるのではないのでしょうか。

和田 そうですね。困窮を強いることは政策として成り立ちません。

市長 食や農を中心にしたまちづくりをしていけば、環境との接点は確実に見えてくる。ここで生活して、営みを続けていくことで、将来世代と環境のために役に立てると思うと、自分たちのプライドも刺激されると思います。将来に向かつて、夢や希望を持てる地域というものは、どんな時代にあっても、時代遅れにはならないのではないのでしょうか。

気候変動時代のまちの姿



和田 「私たちの未来は温暖化地

獄です」ではなく、気候変動時代にあっても、実は生き生きとした営みが成り立つ。もつとと言うと、気候変動時代に即したビジネスを創り上げようという雰囲気が出ていると出てくるようになったと思っています。

市長 確かに、気候変動のコントロールはできないですが、品種改良の効果もあつて、十勝や北海道の農作物の収量は上がっています。また、同じ畑で何年も同じ作物を作っていたら、「連作障害」といって生産性が下がってしまうため、十勝では、毎年、畑ごとに4・5種類の作物を回して作ります。それを「輪作」って言うんだぞ」と、農家の方に教えられたことがありましたが、金融の世界で働いていた私は、畑の中で「リスクマネジメント」をしているのだと理解しました。資金を運用するには、いくつかの金融商品を組み合わせ、損失のリスクを低減しようとしていますが、この土地の人たちには、農業という仕事を通して、生きていく上でのリスクマネジメントの知恵が備わっているのだと感じまし

日高山脈襟裳国定公園って？

日高山脈の魅力は？

手つかずの自然が残る原始性が高いところです。世界的にまれな地質を有し、氷河がつくった地形やここでしか見られない多くの動植物が存在しています。

国立公園になると何か変わるの？

日本を代表する「傑出した自然の風景地」として、環境大臣が指定し環境省が管理することになります。そのため、国内はもとより世界にも、十勝・日高が知られるきっかけになります。

市はどんな活用を考えているの？

日高山脈を地域資源として活用することで、景観を楽しむだけでなく、登山やキャンプ、釣りといった自然体験に、国立公園化という付加価値を加えたアウトドア観光として魅力向上が期待できます。



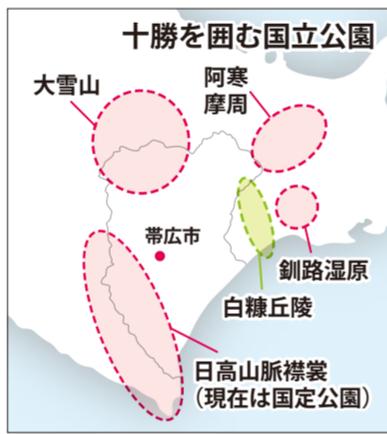
た。
和田 面白い！気候変動の中で被るマイナスのインパクトを、ネガティブに考えて「俺たちのまちはもうだめだ」ではなくて、むしろ気候変動時代を逆手に取って、気候変動に耐えていける産業や新しいビジネスに取り組みようとしている。十勝・帯広は、その先駆けになれますね。
市長 実は、以前、環境省で提唱されている地域の姿「地域循環共生圏」の構想図を見た時「これは十勝19市町村のことだろう」と思いました。個々のまちが自意識を持ちながら、近隣のまちとのネットワークのもと、圏域として共生している姿ですよ。
和田 そうです。地域循環共生圏は、役所目線ではなく、とにかく市民目線を徹底しています。自分たちの理想のまちはどうあるべきか、どう育てていくのかを当事者意識を持って考える。それを「オーナーシップ」と言っています。その「オーナーシップ」と「ネットワーク」、「サステナブル」、この三つを掛け算したまちをつくる

ことが大切だと思っています。「オーナーシップ」があるからそれぞれのまちが自立できる。でも、決して孤立しているわけではなく、周りのまちとも「ネットワーク」でつながっている。そうすると「サステナブル」つまり、個々のまちが共生しながら、循環型の持続可能な地域となっていく。これを地域として目指すことが、これからの時代、必要になるのではないかと考えています。
市長 帯広のオーナーシップの象徴と言えるかもしれません。半世紀、50年も前に、百年の大計で「帯広の森」をつくり始めました。ウィーンの森のように、市民が自ら植樹して、育てた森でまちを囲むという、当時の市長の発想がとも面白く思っています。
和田 ええ、本当に面白いですね。
市長 それで、4期目の公約には、「森と公園に暮らすまち」を掲げました。次の50年の帯広の森の展望を、市民の皆さんと一緒に考え

森と公園に暮らすまち



たいなど。日高山脈襟裳国定公園の国立公園化の話もその考えに拍車をかけました。
国立公園化が実現すると、帯広から日高山脈を遠くに見たときに、まちの方へ引いて見ると畑と帯広の森があり、もつと引いて見ると、広い緑ヶ丘公園がある。それも、ポツンとあるわけではなく、日高山脈の右にいくと大雪山国立公園があり、白糠丘陵があり、その奥には阿寒摩周国立公園がある。帯広空港に降り立ったら、少ない時間で、三つの国立公園にアクセスできてしまいます。多分、三つの国立公園に囲まれる空港は、帯広しかないのではと思うと、国立公園化は、十勝・帯広にとって、非常にインパクトがあるものと考えています。
和田 なるほど、気が付きませんでした。国立公園化が実現すると、「十勝」は国立公園に囲まれた地域になるんですね。広い範囲で見ると、他の地域にもあるかもしれないませんが、国内でこのスケール感ではあまりないと思います。国立公園があつて、地域に森があつて、暮らしに公園があつて、重層的になつていく。これも、まちのブランドですよ。
今は自然共生が企業ブランドになる時代です。自然や森と共生す



る仕組みをつくりあげて、それを守っていること自体がブランドになる。企業からすると十勝を通して、エネルギーや観光だけではなく、自然保全の観点からも、新しい提言が出てくるかもしれない。そういう意味でも、日本で最初にネイチャー・ポジティブ^{※1}という大きな流れをつくれるのではないかと考えています。
市長 ありがとうございます。私も、ポジティブという単語は、まちづくりの考え方を説明する時によく使います。「ポジティブな考え方ができる人を増やそう」と。それを標語にしたのが「第七期総合計画」の目指すまちの姿「あおあお ひろびろ いきいき 未来を信じる帯広」なんです。
和田 はい。私たちの未来は、自分たちで挑戦して切り拓いていくのだと思います。第七期総合計画からも、そうしたオーナーシップを感じました。
市長 先が見えない時代に、ネガティブなことを考え始めたら、いくらでもネガティブになつてしまいがちですが、そこをポジティブに捉えて、立ち上がり前を向く人がたくさんいるまちが、存在感のあるまちになつていくと思います。そうした人たちがまちづくりに参加してくれる企業を増やすことにも、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

る仕組みをつくりあげて、それを守っていること自体がブランドになる。企業からすると十勝を通して、エネルギーや観光だけではなく、自然保全の観点からも、新しい提言が出てくるかもしれない。そういう意味でも、日本で最初にネイチャー・ポジティブ^{※1}という大きな流れをつくれるのではないかと考えています。
市長 ありがとうございます。私も、ポジティブという単語は、まちづくりの考え方を説明する時によく使います。「ポジティブな考え方ができる人を増やそう」と。それを標語にしたのが「第七期総合計画」の目指すまちの姿「あおあお ひろびろ いきいき 未来を信じる帯広」なんです。
和田 はい。私たちの未来は、自分たちで挑戦して切り拓いていくのだと思います。第七期総合計画からも、そうしたオーナーシップを感じました。
市長 先が見えない時代に、ネガティブなことを考え始めたら、いくらでもネガティブになつてしまいがちですが、そこをポジティブに捉えて、立ち上がり前を向く人がたくさんいるまちが、存在感のあるまちになつていくと思います。そうした人たちがまちづくりに参加してくれる企業を増やすことにも、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

未来を考えてみる



なが楽しくて豊かで安心できて、こんな未来に住んでみたいと思うことを並べたら、自動的に17の目標が成り立っている。それだけのことだと思っています。
市長 市民目線と言われたら、すーっと入ってきますね。
和田 はい。そう考えると、帯広市民の皆さんの目線で未来を考えてみる時の出発点は何だろうと。私は、「強み」から考えたら、面白いのではないかと考えています。まずは、「自然」という強み。次に、「農業」という産業。そしてもう一つは、「人」です。何か面白いと思うことがあつたら、チャレンジしてみようという人たち。閉鎖的ではない人たちです。
自然というベースと、農業という歴史的な産業と、前向きな気風を持つ人との三つで未来像を考えて、この三つの貴重な資産を最大限活用するために、どんなエンジンで加速させていくのか。エンジンの一つとして、カーボンニュートラルに取り組みの面白いと思います。その結果、災害に強い、ライフスタイルが健康的、子育ても安心、エネルギーも自立して、極めつけはビジネスが盛ん。そんなまちになつたら、ちよつとどこるか、かなり楽しいまちになると思います。
市長 それで、先ほどの地域循環



共生圏につながるんですね。
和田 そうです。この三つの資産を活用しながら、市長が描いたビジョン、第七期総合計画をもとに市民の皆さんが面白いぞ、と思うものをみんなで描いてみる。その未来の絵を見たら、他の地域の人もみんな驚くのではないのでしょうか。
市長 ありがとうございます。お話を伺って、もつともつと頑張つていかねばと思えました。(笑)
未来を考える時に、常日頃自分に戒めているのは、常に時間軸を持つことです。例えば、一足飛びに目標を達成できないとしたら、一番早く到達するためには、一見不合理に見えることでも、ここに石を置いた方がいいのではないかと。毎日そんなことを考えています。
和田 私も、近視眼的でもなく、無責任に未来を考えるのでもなく、どちらも見ながら、自分ほどの布石を打てるのか考えています。その石は、蹴飛ばされたり、ブルドーザーで動かされたりするかもしれないませんが、これが常套手段だと思つて布石を打つことができるのが、国の役人の醍醐味だと思えます。でも、地方行政は一つの分野だけではなく、まちづくり全体を見て、市民の皆さんとコミュニケーションを取りながら石を置いていく。それも楽しいですよ。
市長 はい。これからも、市民の皆さんと一緒に、みんなが幸せになるまちづくりを目指したいと思っています。本日は長時間、本当にありがとうございます。
和田 とてもダイナミックなお話で、楽しかったです。こちらこそありがとうございます。

※1 ネイチャー・ポジティブ 生物多様性や自然の損失を食い止め、回復させ、豊かにすることを優先して企業活動などを進めていくこと。
※2 SDGs (Sustainable Development Goals) 2030年までに持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の「持続可能な開発目標」の略。

おびひろ動物園 節分の日イベント

節分にちなんで、ニホンザルへ落花生などの特別給餌を行う。

日 1月29日(日)、13時30分～14時
場 問 動物園 (緑ヶ丘2、☎24・2437)

市ホームページID.1007138

第72回キッズ・プレイグラウンド(オーストラリア)

国際交流員のカーインさんが、簡単な英語を使って歌やダンスで子どもたちと交流する。

対 6歳までの子どもと保護者。兄弟姉妹の参加も可能

日 1月21日(土)、10時30分～12時
定 抽選40人

申 1月5日(木)までに、WEBフォームから申し込み。



場 問 森の交流館・十勝(西20南6、☎34・0122)

市ホームページID.1009965

幼児向けプチコンサート 楽しいおやこあそび

音楽でおもいきり体を動かしたり、歌を歌ったりするプチコンサート。

対 5歳までの乳幼児と保護者
日 2月12日(日)、10時30分～11時30分

定 先着30家族75人

費 一家族500円

場 **申** 問 1月11日(水)～2月12日(日)までに、電話で市民文化ホール(西5南11、☎23・8111)へ。

「知ってる?帯広の姉妹・友好都市」パネル展

児童や高校生の相互派遣事業など、姉妹・友好都市との交流内容を紹介する。

日 1月24日(火)～31日(火)、9時～19時(土・日曜日は10時～17時)

場 市民ホール(市庁舎1階)

問 観光交流課(市庁舎7階、☎65・4133)

第11回財団杯北海道雪中パークゴルフ大会兼帯広市健康スポーツ推進雪中パークゴルフ大会

男女別36ホールストロークブレイの大会。

対 16歳以上の人

日 2月11日(祝)、8時～

場 帯広の森研修センター(南町南7線56番地7)

定 抽選100人

費 1000円(保険料含む)

申 問 1月20日(金)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森野球場(〒080・0856南町南7線56番地7、☎48・8338)へ。

担当課スポーツ課

帯広市消防出初式

消防職団員による行進、帯広鷹土工事業組合による木遣りやはしご乗りを行うほか、屋外での車両展示ブース、子ども向けの防火衣装着ブースを設置。

日 1月5日(木)、10時～11時10分

場 よつ葉アリーナ十勝(大通北1)

問 総務部消防課(西6南6、消防庁舎1階、☎26・9128)

児童会館のイベント

場 **申** 問 特に記載がない場合、各申込期間に、直接または電話で児童会館(緑ヶ丘2、☎24・2434)へ。

◆親子囲碁入門教室

申し込み不要。

対 小・中学生と保護者

日 1月9日(祝)、10時～12時

◆もっくん教室(幼児向け工作)

対 幼児と保護者

日 1月11日(水)、18日(水)、いずれも

①10時～10時15分、②10時30分～10時45分、③11時～11時15分

定 各先着親子2組

申込期間 1月4日(水)～各開催日

◆きらきら人形劇場(とうきび座)

対 幼児・小学生と保護者

日 1月15日(日)、14時～14時40分

定 先着30人

申込期間 1月4日(水)～15日(日)

◆星の観察会

日 1月20日(金)、19時～20時15分

定 先着30人

申込期間 1月6日(金)～20日(金)

◆親子おもしろ教室

対 幼児、小・中学生と保護者

日 1月28日(土)、①9時30分～10時、②10時30分～11時

定 各先着親子6組

申込期間 1月14日(土)～27日(金)

帯広の森・はぐくむ 1月のイベント

小学生以下は保護者同伴。

場 **申** 問 12月25日(日)～各開催日の前日までに、帯広の森・はぐくむ(南町南9線49、☎66・6200)へ。

◆歩くスキー体験

主に初心者が対象の、歩くスキーの体験・講習会。

日 1月28日(土)、9時30分～11時30分

定 先着30人

◆森のスノーシューハイキング

少し起伏のある自然林をスノーシューで歩く。

日 1月29日(日)、9時30分～12時

定 先着15人

◆森のスキーツアー

帯広の森の見どころや施設などを巡るスキーツアー。

日 2月4日(土)、9時30分～12時

定 先着15人

帯広市からの お知らせ

Information

1月

申し込み方法などの記載がない場合は、参加無料ですので当日会場へ直接お越しください。

詳細は、各問い合わせ先に確認してください。(施設ごとに業務時間が異なります)

市役所代表 ☎24・4111、FAX 23・0151
帯広市ホームページ <https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

お知らせの見方

対=対象 **日**=日時 **場**=場所 **定**=定員
費=費用 **申**=申し込み **問**=問い合わせ **☎**=電話
F=FAX **✉**=Eメール **HP**=ホームページ

カテゴリアイコンの見方



往復はがきなど申込時の記載事項

- ①イベント・教室名(希望する日時・曜日・コースなど)
 - ②住所(郵便番号も) ③氏名(ふりがな) ④電話番号
 - ⑤生年月日(スポーツ教室のみ) ⑥性別(スポーツ教室のみ)
 - ⑦年齢(高校生以下は学校名・学年、年中、年長なども)
 - ⑧保護者氏名(小学生以下の場合) ⑨返送先(往復はがきの場合)
- 特に記載のない場合、申し込みは1人(組)1通。
直接窓口で申し込む場合は、返信用のはがきを持参。

広報掲載記事に関連するWEBページを簡単に探せます!

広報記事内に記載されている7桁の数字(ページID)を、市ホームページ内の「広報ページID検索」欄に入力するだけで該当WEBページのより詳細な情報が確認できます。ぜひご活用ください。
問 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109)

百年記念館のイベント

場 問 百年記念館(緑ヶ丘2、☎24・5352)

◆第41回郷土美術展

十勝管内で絵画、工芸などの創作活動をされている人々の作品を一室に集めた展覧会。

日 1月13日(金)～29日(日)、9時30分～16時30分(最終入場は16時まで、最終日は15時30分まで)

◆ロビー展「動画で旅する十勝の歴史3」

昭和に記録された動画から、帯広・十勝の歩みをひもとく。

日 1月14日(土)～2月5日(日)、9時～17時

依田勉三日記『備忘』が帯広市指定文化財になりました

10月28日、帯広市教育委員会は、百年記念館が所蔵する依田勉三の自筆日記『備忘』を帯広市の指定文化財に指定しました。帯広市における指定は25年ぶり9件目です。

十勝開拓の先駆者として知られる依田勉三は、日々の出来事を事細かに記録していました。指定に至った理由は、この『備忘』が明治時代の開拓の様子や同時期の帯広・十勝の地域社会を詳しく知ることができる貴重な史料だからです。

今後さらに『備忘』の調査研究を進め、活用していきます。



「本が泣いています」展



汚れたり破損した状態で返却された図書館の本を展示。

日 1月20日(金)~29日(日)

場 問 図書館 (西2南14、☎22・4700)



プラザ・エンジョイスクール

2022年度第4期講座

2月から3月までに開催する講座の受講生を募集。詳細は、とかちプラザや各コミセンなどに配置してあるパンフレットのほか、とかちプラザホームページなどをご覧ください。



対 高校生以上

場 申 問 1月11日(水)~26日(木)までに、直接とかちプラザ(西4南13、☎22・7890)へ。

種類	講座
健康・スポーツ	ファンキー・ソウルステップ、背骨コンディショニング、ダンスフィットネス、太極拳、ヨガ、フラダンスなど
音楽	コーラス、カラオケ教室、ゴスペル
書道・絵画	書道、美文字入門、油絵、パステル画
語学	英会話(入門、初級、中級)、韓国語(入門、初級)
華道・茶道	花ごころ、茶道(裏千家)
趣味・手工芸	パッチワークキルト、ししゅう、着物、絵手紙
料理	家庭料理、楽しい彩り料理、シェフの簡単料理
パソコン	エクセル、ワード、パソコンの基本操作など

市民大学講座



場 とかちプラザ(西4南13)

市ホームページID.1006968

申 問 会場受講の場合は各開催日の前日までに、生涯学習文化課(市庁舎8階、☎65・4192)へ。

Zoom受講の場合は開催日2日前までに、市民大学講座ホームページから申し込みが必要。未就学児(2歳以上)の託児希望は各開催日の一週間前までに、申し込み。

講座名	講師(役職)/講座内容	開催日/開催時間	定員(備考)
第32集 【帯広大谷短期大学連携】 現代フランス文学事情	高橋 啓 氏(翻訳家) 社会学者ジェラルド・ブロンネール氏の最新作『知の黙示録』(邦訳2023年みすず書房より刊行予定)の内容を紹介する。	1月19日(木)、 14時~15時30分	先着40人 (Zoom 配信あり)
第33集 【2回講座】 NISA、iDeCoではじめる 資産運用基礎講座	川部 紀子 氏(日本証券業協会金融・証券インストラクター) 投資で資産運用を始めるなら、非課税制度の利用がお得。NISA、iDeCoが利用できる株式と、投資信託の基礎知識・制度の仕組みを中心に学習する。	1月24日(火)、 2月7日(火)、 いずれも 18時30分~20時	先着70人 (Zoom 配信あり)

スポーツ教室についてのお知らせ

12月20日(火)から予約受付を開始する教室一覧です。各教室の開催時間、定員、費用などの詳細は各施設に問い合わせるか、帯広市文化スポーツ振興財団のホームページ、または総合案内(市庁舎1階)、各スポーツ施設、各コミセンに配置している生涯学習情報誌「まなびや」で確認してください。

申し込み方法(各教室の定員を超えた場合は抽選となります)

①ホームページから…希望の教室を選択し、申し込みフォームから送信

HP <https://obihiro-foundation.jp/>

②直接申し込み…返信用はがきを各施設に持参

③往復はがき…「申込時の記載事項」(8頁)を記入

※連続講座は祝日が含まれる場合、開催曜日が変更になる場合があります。

会場	日程:回数	講座・教室名	対象者	申込期限
帯広の森研修センター	2/5(日)	食育教室	幼稚園・保育所の年中・年長児と保護者	1月10日(火)
坂本ビル (問い合わせは 帯広の森体育館へ)	2/14(火)	みんなで楽しく! リトミック(1・2歳)	1~2歳児と 保護者	1月31日(火)
帯広の森体育館	2/21(火)~3/21(祝) 火曜日:全3回	転倒予防教室 (2回目)	50歳以上の人	2月7日(火)
	2/24(金)~3/24(金) 金曜日:全5回	レッツ! プレイスポーツ(2回目)	幼稚園・保育所の年中・年長児	1月31日(火)

場 問 帯広の森研修センター(〒080・0856南町南7線56番地7、☎48・8048)
帯広の森体育館(〒080・0856南町南7線56番地7、☎48・8912)
坂本ビル(〒080・0012西2条南9丁目16番地)



ソーセージ、チーズ作り 体験研修

地場産の生乳や肉を使った加工方法を学ぶ。

場 申 問 12月27日(火)~各申込期限までに、電話で畜産物加工研修センター(八千代町西4線、☎60・2514)へ。

市ホームページID.1005676

◆ソーセージ研修(プレーンほか全3種、計約750グラム)

日 1月22日(日)、10時~14時

定 先着10人 ¥2200円

申 込 期限 1月13日(金)

◆ソーセージ研修(約250グラム)

日 2月5日(日)、10時~14時

定 先着20人 ¥1000円

申 込 期限 1月27日(金)

◆チーズ研修(約1キログラム)

日 ①1月28日(土)~29日(日)、②2月11日(祝)~12日(日)、いずれも1

日目は10時~13時、2日目は10

時~10時30分

定 各先着8人 ¥各3000円

申 込 期限 ①1月20日(金)、②2月3日(金)



そば作り教室

市内の農家グループ「畑のキッチンおびひろ」を講師に、地元産のそば粉を使用し、家庭にある道具だけでそばを作る。

日 1月17日(火)、14時~16時

場 川西農業者研修センター(川西町西2線59)

定 先着8人 ¥1200円

申 問 1月5日(木)~13日(金)までに、電話で農政課(川西町基線61、☎59・2323)へ。

市ホームページID.1010419



とかち大平原交流センター の講座・教室

場 申 問 12月25日(日)~各申込期限までに、電話でとかち大平原交流センター(川西町基線61、☎53・4780)へ。

◆アイス作り体験

雪を使って遊びながらアイス(100ミリリットル)を作る。

対 親子

日 2月4日(土)、10時~11時30分

定 先着10組 ¥1組1000円

申 込 期限 1月29日(日)

市ホームページID.1010427

◆小麦から小麦粉への製粉体験

石臼を使って小麦から小麦粉を作る。

対 小学生以下の子どもと保護者

日 2月18日(土)、10時~12時

定 先着10組 ¥1組500円

申 込 期限 2月14日(火)

市ホームページID.1010571



スポーツ課からの お知らせ

問 スポーツ課(市庁舎8階、☎65・4210)

市ホームページID.1005456

◆令和4年度ゴルゲート練習会

ゴルゲートの練習会として、施設の開放を行う。

回 場 ▶よつ葉アリーナ十勝(大通北1)、1月23日(月)、27日(金)、2月10日(金)、24日(金)、3月2日(木)、8日(水)、10日(金)、いずれも13時~16時 ▶帯広の森コミュニティセンター(空港南町南11)、1月26日~3月23日までの毎週木曜日、いずれも13時~15時30分

◆令和4年度ゴルゲート教室

ゴルゲートの初心者向けの教室。講師による指導の下、分かりやすく解説する。

日 1月22日(日)、9時~12時

定 先着30人

場 申 1月16日(月)までに、直接または電話で帯広の森コミュニティセンター(空港南町南11、☎47・3974)へ。

◆市民クロスカントリースキーツアー

クロスカントリースキーツアーを開催。スキー貸し出し希望者は、申し込み時に連絡ください。

対 小学生以上の市民

日 1月22日(日)、7時30分~16時

場 糠平湖タウシュベツ川橋梁周辺特設コース(上士幌町)

定 先着35人

申 1月11日(水)までに、電話でスポーツ課へ。



都市農村交流センター サラダ館の講座・教室

定 各先着10人 ¥各6600円

場 申 問 各申込期限までに、電話で都市農村交流センターサラダ館(西22南6、☎36・8095)へ。

◆草木染め教室

草木染めを学ぶ。

日 1月16日(月)、2月20日(月)、3月13日(月)、いずれも10時~11時30分、全3回

申 込 期限 1月9日(祝)

市ホームページID.1013814

◆初めてのパンとケーキ作り教室

パンとケーキの作り方を学ぶ。

日 1月20日(金)、2月17日(金)、3月10日(金)、いずれも10時~12時30分、全3回

申 込 期限 1月13日(金)

市ホームページID.1013812

◆初めての押し花教室

押し花を学ぶ。

日 1月26日(木)、2月16日(木)、3月30日(木)、いずれも10時30分~12時、全3回

申 込 期限 1月16日(月)

市ホームページID.1013813

令和4年度第5回 帯広市生活援助員養成研修

「てだすけサービス」の従事者を養成するための研修。研修の全課程（12時間）を修了し、てだすけサービスを実施する事業所に就職することにより、生活援助員として働くことができる。

対 てだすけサービス事業所への就職希望や予定のある人

日 2月4日(土)～5日(日)、1日目は10時～17時、2日目は9時30分～16時30分

場 帯広コア専門学校（西11南41）

定 先着20人

費 1000円程度の実費（食材費など）

申 1月27日(金)までに、申込書を直接または郵送、ファクスで地域福祉課（〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎3階、☎65・4113、F23・0158）へ。市ホームページからも応募可能。申込書は地域福祉課で配布のほか、市ホームページからもダウンロード可能。

市ホームページID.1009154

健康推進課からのお知らせ

場 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎①25・9721、②25・9720）

①健康相談

保健師、栄養士などが、健診結果の見方や健康づくりなど健康に関する相談に応じる。

対 市内在住の18歳以上

日 ①1月12日(木)、②25日(木)、いずれも9時30分～11時30分、13時30分～15時30分（1人60分程度）

申 各開催日の前日までに、電話で健康推進課へ。

②エキノコックス症検診

採血による血清反応検査を行う。結果は約4週間後に通知。

対 小学3年生以上の市民で、過去5年間受診していない人

日 ①1月11日(木)、②26日(木)、いずれも13時30分～14時

費 300円（中学生以下無料）

市ホームページID.1004868

令和4年度1月定期募集分 市営住宅入居者を募集

印鑑、マイナンバー確認書類および身元確認書類を持参の上、直接お越しください。申し込み方法、入居者資格などは、問い合わせください。その他、随時受け付けをしている住宅もあります。

日 1月5日(木)、8時45分～19時、6日(金)、10日(火)、8時45分～17時30分

場 市庁舎10階第5A会議室

問 住宅営繕課（市庁舎3階、☎65・4190）

救命講習

対 市内在住または勤務地が市内の人

定 電話で問い合わせください

申 各申込期限までに、帯広消防署救急課（西6南6、消防庁舎1階、☎26・9132）へ。

◆普通救命講習

出血時の止血法や心肺停止、呼吸停止時の心肺蘇生法、AEDの使い方など応急手当を習得する。

日 ①1月9日(祝)、②22日(日)、いずれも13時30分～16時30分

場 ①消防庁舎（西6南6）、②柏林台出張所（柏林台西町2）

申 1月2日(振)、②15日(日)

◆実技救命講習

1カ月前から前日までに、インターネット上の「応急手当WEB講習」を受講した人が対象の講習会。

日 1月19日(木)、18時30分～20時30分

場 南出張所（西17南41）

申 1月12日(木)

ミツロウラップづくり講座

成瀬潤姫氏（ナルセ養蜂場）を講師に、ミツロウラップを作る。

対 市内在住の障害者手帳をお持ちの人や難病の人

日 1月18日(水)、10時～11時30分

定 先着8人 費 700円（材料費）

場 申 12月26日(月)～1月11日(水)までに、電話またはファクスで障害者生活支援センター（保健福祉センター内、☎25・9701、F25・9703）へ。市ホームページからも申し込み可能。手話・要約筆記通訳が必要な人は早めの申し込みを。

市ホームページID.1013808

認知症の支援に関するお知らせ

問 地域福祉課（市庁舎3階、☎65・4113）

◆認知症サポーター養成講座

認知症の症状や接し方を学び、地域で認知症の人とその家族を見守る応援者を養成する。

対 市民または市内に通学、通勤している人

日 1月18日(水)、10時～11時30分

場 緑西コミセン（西17南4）

定 先着15人

申 1月16日(月)までに、直接または電話で地域福祉課へ。

市ホームページID.1004989

◆認知症・家族の集い「茶話会」

認知症の人を介護している家族が気軽に参加し、相談・交流できる。介護を終えた人も参加可能。

日 1月26日(木)、13時30分～15時

場 グリーンプラザ（公園東町3）

費 100円

赤十字講習

場 グリーンプラザ（公園東町3）

定 各先着10人

申 各申込期限までに、直接または電話で地域福祉課（市庁舎3階、☎65・4146）へ。

◆救急法基礎講習

手当ての基本、人工呼吸・胸骨圧迫の方法、AEDの使用法、気道異物除去の方法などを学ぶ。

対 満15歳以上

日 1月14日(土)、9時15分～13時30分

費 1500円

申 1月13日(金)

◆救急法救急員養成講習

急病やけが・傷・骨折の手当て、搬送などを学ぶ。

対 救急法基礎講習修了者

日 1月21日(土)～22日(日)、いずれも9時15分～17時30分

費 1800円

申 1月20日(金)

博物館講座 「十勝のチャン跡」

アイヌ民族の遺跡であるチャン跡を十勝管内の事例から紹介する。

日 1月21日(土)、14時～16時

定 先着50人

場 申 1月5日(木)～20日(金)までに、電話で百年記念館（緑ヶ丘2、☎24・5352）へ。

十勝探訪 【廃線編～旧士幌線】

特に士幌線を取り上げ、講演やドローンが撮影した動画の上映、座談会を実施する。

日 1月14日(土)、14時～16時

場 百年記念館（緑ヶ丘2）

定 先着50人

申 1月10日(火)までに、電話またはファクス、Eメールで十勝圏複合事務組合事務局総務課（☎37・3491、F37・3494、✉soumuka@tokachiken.hokkaido.jp）へ。

担当課 百年記念館

子育て広場

問 特に記載がない場合、健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9722）

◆ママと赤ちゃんの相談会
テーマごとの講話を行い、個別の相談に応じる。時間はいずれも10時～11時10分
対 妊娠中または1歳までの赤ちゃんと保護者。第2子以降の人でも参加できますが、①は1歳以上の兄弟は参加不可
定 ②は先着15組、①は各開催施設へ問い合わせください。
申 各開催日の前日までに、直接または電話で各開催施設へ。

開催日	講座名/開催施設・申し込み先
① 1月19日(木)	ママと赤ちゃんのわくわく母乳講座 場 地域子育て支援センターこでまり（西14北2、☎38・2690）
② 1月23日(月)	ママと赤ちゃんの歯っぴい講座 場 保健福祉センター（東8南13、☎25・9722）

◆ほんわかファミリー教室
対 令和5年5月初産予定の夫婦
日 1月21日(土)、①10時～11時、②13時～14時
場 申 1月18日(水)までに、電話で健康推進課へ。

◆1月乳幼児健診のお知らせ
5カ月児健診、1歳6カ月児健診、3歳児健診の対象者には事前に個別通知しています。通知が届かない場合や転入された場合など、不明な点は問い合わせください。

げんき活動コースチャレンジデー

介護予防のための運動などを体験。1回から参加できます。開催場所や時間など、詳細は各事業所へ問い合わせください。

対 65歳以上の市民
担当課 地域福祉課 市ホームページID.1006491

開催日	実施事業所（電話）
1月5日(木)、12日(木)、19日(木)	コムニの里おびひろ小規模多機能型居宅介護事業所（☎20・4567）
1月10日(火)、20日(金)	ジョイリハ西5条（☎49・3060）
1月11日(水)、18日(水)	デイサービスセンター太陽園（☎64・5565）
1月13日(金)、16日(月)	ツクイ帯広WOW（☎20・1562）
1月18日(水)	デイサービスセンター帯広りはびり（☎29・5515）
1月19日(木)、20日(金)	通所介護事業所ふるさと（☎41・8341）
1月20日(金)、23日(月)、31日(火)	歩くデイゆるり（☎090・9801・7781）



国民年金保険料一部免除が承認された人は注意してください

経済的な理由などで保険料を納めることが困難なときは、保険料の免除制度があります。このうち、4分の3免除、半額免除、4分の1免除は、免除を受けた残りの保険料を納める必要があります。残りの保険料の納付を忘れると、免除が承認されても保険料未納期間になるので注意してください。

☎戸籍住民課（市庁舎1階、☎65・4143）、帯広年金事務所（西1南1、☎25・8113、音声案内2番→2番）



国民年金に関するお知らせ

令和4年中に厚生年金保険、国民年金などの老齢または退職を支給事由とする年金を受け取られた人には、1月中旬から下旬にかけて、日本年金機構より「令和4年分公的年金等の源泉徴収票」が順次送付されます。

源泉徴収票を紛失した場合や、再発行を希望する人は「ねんきんダイヤル」や「ねんきんネット」をご活用ください。ねんきんネットの利用方法は、日本年金機構ホームページをご確認ください。

☎ねんきんダイヤル（☎0570・05・1165）

担当課戸籍住民課



建設工事5工種と清掃・警備業務の格付更新申請を受け付けます

建設工事5工種（土木一式、建築一式、電気、管、舗装）および物品・役務の2業種（清掃業務、警備業務）に登録がある事業者の格付更新を行います。

申請方法などの詳細は、市ホームページをご確認ください。

格付の有効期限令和5年4月1日から2年間

☎市内に本店または受任先の支店などを有する事業者のみ

☎☎1月10日(火)～27日(金)までに、直接または郵送で契約管財課（〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎2階、☎65・4114）へ。

市ホームページID.1005718



償却資産の申告をお忘れなく

償却資産とは、会社や個人が所有する不動産賃貸、商店、農業などの事業に使用する資産です。所有者は、1月1日現在の所有状況を1月31日(火)までに申告してください。申告書は資産税課で配布しています。

対象資産構築物、機械・装置、工具・器具備品など

☎資産税課（市庁舎2階、☎65・4124）



第42回おびひろ市民芸術祭の参加者を募集

市内で活動している個人・団体の創作活動の成果を発表するおびひろ市民芸術祭の参加者を募集。日程など、詳細は問い合わせください。

・私の作品展

☎市内で活動する個人

募集作品絵画、書道、写真、手工芸、絵手紙など

・イラスト・ギャラリー

☎市内で活動する個人、団体

募集作品アニメ、イラスト作品

・私の作品展〈映像〉

☎市内で活動する個人

募集作品1作品5分以内の映像

☎☎1月6日(金)～30日(月)までに、市民文化ホールなどで配布の申し込み用紙に必要事項を記入し、直接または郵送でおびひろ市民芸術祭実行委員会（〒080・0015西5条南11丁目48番地、市民文化ホール内、☎23・8111）へ。

担当課生涯学習文化課



令和5年度北海道消費生活モニターの募集

毎月1回市内で生活必需品の小売価格調査を行うほか、各種アンケートに回答するモニターを募集。任期令和5年4月1日から1年間報酬月額1600円（予定）

☎18歳以上の市内在住で、1年を通じて活動が可能な人

定選考6人（予定）

☎☎1月5日(木)～2月3日(金)までに、応募用紙に必要事項を記入し、直接または郵送で商業労働課（〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎7階、☎65・4132）へ。応募用紙は商業労働課で配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。

市ホームページID.1011093



季節労働者等生活資金貸付金

詳細は問い合わせください。

☎市内在住の季節労働者で、次のすべての条件を満たす人

- ▶雇用保険特例受給資格者で特例一時金の支給を受けた人、または雇用保険被保険者離職票、資格喪失確認通知書の発行を受けている求職者登録をしている人
- ▶生計維持者で、原則、扶養家族がいる人
- ▶就労するまでの生活が困難な人
- ▶連帯保証人がいる人

返済方法6月～翌年1月までの8回払い

貸付限度額一世帯15万円まで

利息無利子

☎☎5月31日(木)までに、直接または電話で商業労働課（市庁舎7階、☎65・4168）へ。



令和5年度会計年度任用職員を募集

令和5年4月1日付採用の会計年度任用職員を募集します。募集要項で応募資格と申し込み方法を確認してください。募集要項は1月下旬に人事課や総合案内（市庁舎1階）に設置するほか、市ホームページからも確認できます。

☎人事課（市庁舎5階、☎65・4108）

市ホームページID.1004434



学校教育課からのお知らせ

☎☎各申込期間に、直接学校教育課（市庁舎8階、☎65・4203）へ。

◆令和5年度小規模特認校(清川、愛国)への入学児童の募集

豊かな自然環境の中で特色ある教育活動を行っている農村地域の小規模特認校へ、住所を変更することなく就学することができます。見学の希望は、学校教育課へ問い合わせください。

▶清川小学校（清川町西3線）

▶愛国小学校（愛国町基線23）

☎市内在住かつ市内の小学校に在学する児童

☎各学校、各学年3人程度

申込期間1月4日(水)～27日(金)

市ホームページID.1004710

◆奨学金および入学支度金の貸し付け希望者の募集を開始

申し込みの際に必要な申請書は学校教育課で配布しているほか、市ホームページに掲載しています。

申込期間1月4日(水)～2月10日(金) 奨学金▼

市ホームページID.1004716

入学支度金▼

市ホームページID.1013083



(仮称)帯広市議会の個人情報保護に関する条例骨子(案)に関するご意見募集

市議会が保有する個人情報の取り扱いを適正に行うための条例の制定に当たり、市民の皆さんから意見を募集します。

詳細は、募集要領をご確認ください。募集要領は議会事務局総務課、各コミセンなどに設置のほか、市ホームページにも掲載しています。意見募集期限までに、意見等の提出書に記載し、直接または郵送、ファクス、Eメールで議会事務局総務課へ提出してください。WEBフォームからの提出も可能。募集期限1月18日(水)、17時30分必着

☎議会事務局総務課（〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎議会棟2階、☎65・4220、F23・0164、✉city_council@city.obihiro.hokkaido.jp）

市ホームページID.1013809

市長からの返信

～vol.2のテーマは「活力あるまち」～

☎問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109）

米沢市長が動画を通して、直接、市民の皆さんに向けて説明する“市長からの返信”シリーズ。第2弾では、帯広市の活力はどこから来ているのか？人口や産業などの視点から説明しています。



▲動画はこちら

図書館のオススメ

今月はビジネスに関する本を紹介します。

☎問い合わせ 図書館（西2南14、☎22・4700）

『仕事は1冊のノートで10倍差がつく』

著者…鈴木 進介/著
出版社…明日香出版社

「工作中、「考えごとでいっぱいになった頭を整理したい」「なかなか目標が達成できない」このような悩みに出会うことはありませんか。使い方次第で仕事の効率や成果が何倍も変わるノートの整理方法を、さまざまなシーンに沿って紹介した1冊です。1冊のノートと1本のペンを使い頭の中をスッキリさせ、効率の良い仕事をするのに役立ててみてはいかがでしょうか。



(表紙画像使用許諾不要)

休日・夜間の急病は

▶帯広市急病テレホンセンター（☎0155・26・1099）▶北海道救急医療情報案内センター（☎0120・20・8699、携帯電話/PHS☎011・221・8699）



第17回帯広市まちづくりデザイン賞が決定！ すてきな都市景観を紹介します

広々とした青空、日高山脈の山並み、緑豊かな自然。こうした帯広のイメージと調和し、人々に潤いや安らぎをもたらす良好な景観の形成を推進するため、平成17年から「帯広市まちづくりデザイン賞」として、優れた建築物を表彰しています。

問い合わせ 都市政策課（市庁舎6階、☎65・4175）

市ホームページID.1013770



素敵な景観、こちらからも
Instagram
(都市政策課Instagram)



スロウリビング SLOW living (西16北1)

建物前の植栽や国道と建物の間の庭が、交通量の多い場所に心地良さと潤いを創り出しています。



駐車場から庭を抜けて建物に向かう楽しい仕掛け！



WK邸 (市内南地区)

愛情を注ぎ、熱意を持って作られた家とガーデンの一体的な空間が、和む景観や潤いを周辺にもたらしめています。



16年に渡って作り上げてきたガーデン！

第60回 60th Obihiro Ice Festival

おびひろ氷まつり

とき **1/27 FRI**・**28 SAT**・**29 SUN** ところ **緑ヶ丘公園一帯**

昭和38年、帯広小学校グラウンド（現在の中央公園）の特設リンクから始まったおびひろ氷まつりは、今年で60回目を迎えます。冬の思い出づくりに、家族や友人とお越しください。

問い合わせ 帯広のまつり推進委員会（西2南12、エスタ東館2階、☎22・8600）、観光交流課（市庁舎7階、☎65・4169）



▲公式ホームページ

60周年の ここを見てほしい！

恒例の大すべり台や市民手作りの氷雪像、氷のお面のほか、自転車試乗会、60周年を祝う氷彫刻など、さまざまな氷のイベントを開催します。

このほか、氷雪像のライトアップや花火大会による幻想的な世界、心も体も温まるおいしいグルメも楽しめます。



第40回の氷まつりの様子(平成15年)

無料シャトルバスをご利用ください

会場周辺の駐車場は大変混雑します。とかちプラザ（西4南13）、帯広厚生病院（西14南10）を発着するシャトルバスをご利用ください。

※詳細は公式ホームページ参照



「市民氷雪像コンクール」参加者募集

用意された雪や氷を使って、5日間で氷雪像を制作するコンクールを実施します。1人から参加可能。1月6日(金)までに電話で申し込みください。

部門 一般参加の部（審査対象外）、コンクールの部（審査対象）

制作期間 1月21日(土)～25日(休)

申し込み先 おびひろ氷まつり実行委員会（株式会社 新生、☎25・1248）

市政のお知らせを放送しています

- ◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch)毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。
- ◆ラジオ (毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20
おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問い合わせ 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihoro.hokkaido.jp)

OBIHIRO
CAMERA
REPORT

オビヒロカメラレポ



北海道日本ハムファイターズのプロジェクト「北海道179市町村応援大使2022」の一環として、帯広市応援大使の清水優心選手・杉浦稔大選手が、杉浦選手の母校でもある広陽小学校を訪問し、児童と交流しました。

日ハム選手が広陽小学校に！



質問コーナーでは、杉浦選手の小学校時代のエピソードや清水選手の野球を始めたきっかけなどを聞いたほか、選手と児童がキャッチボールをするなど、会場は大盛り上がり！子どもたちの笑顔があふれた楽しい時間となりました。(11月25日、広陽小学校)



快晴の冬空の下、動物園の冬期開園が始まりました。開園時間の11時には30人以上が並び、冬の動物たちと会えるのを皆さん心待ちにしている様子でした。

冬期開園スタート！



当日の最低気温はマイナス10度。薄氷の張るプールを泳ぐゴマフアザラシやふわふわの冬毛をまとったエゾタヌキなど、夏とは違う動物たちの姿がとても魅力的でした。



冬期開園日は2月26日(日)までの土・日曜日と祝日です。冬ならではの動物園をぜひお楽しみください。(12月3日、動物園)

新型コロナウイルス感染症に関する相談先

- ◆感染の疑いがある場合や感染に関する一般的な相談：
北海道健康相談センター ☎0120・501・507、24時間
 - ◆陽性になり自宅で療養している人の体調などに関する相談：
北海道陽性者健康サポートセンター ☎0120・303・111、24時間
- ※感染の不安やご自身の健康が心配な場合には、健康推進課でも相談を受け付けています。(☎25・9721)